

キリスト教兵役のための聖書の原則 (8.17.2024)

ジェフ・ズスト

紹介

次の5つの帰納的聖書研究は、軍隊や警察のメンバーが政府奉仕でイエスの弟子として忠実に仕えるのを助けるために書かれています。これらの聖書研究は、それぞれ1つのセッションで行うことも、複数のセッションに分けて行うこともできます。これらの研究は、特定の国の軍隊の規範を他の国の軍隊に押し付けることを意図したものではありません。代わりに、次のように設計されています。

- 一. 兵役に関する主要な聖書のテキストを理解し、主の兵役の要件について仲間のクリスチャンと話し合うことにより、私たちが主に仕えるのを助けてください。
- 二. 私たちの道徳的および倫理的な行動と、神が私たちの兵役で私たちに要求していることを見極めてください。

私たちの生活には、2つの目的があります。クリスチャンとして、私たちはこの世で自分自身を振る舞う方法で、神の創造と贖いの管理者として生きています。軍人として、私たちはまた、任務の遂行において自らを行動させる方法で、自国の軍事力の管理者として生きています。このように、私たちの性格、能力、信念は、私たちが信仰を解釈する方法に組み合わされ、軍隊に勤務するクリスチャンとして自分自身を識別するために使用する価値観を形成します。

同じ二重の目的は、兵士としても仕えた聖書の指導者たちにも当てはまり、旧約聖書と新約聖書のいくつかの箇所は、彼らの信仰と神との関係が、彼らの奉仕の仕方における価値観と信念にどのように影響を与えたかを物語っています。したがって、彼らの精神的な性格は、彼らの軍事的能力と同じくらい重要であり、彼らは私たちの模範となることができます。彼らは、正しい行動を視覚化するのに役立ちます。

模範とは、模倣のモデルです。ただし、模範と美德自体を区別することが重要です。軍隊や法執行機関の文化では、模範ではなく、美德に基づく性格がパフォーマンスを左右します。哲学者アリストテレスは、美德を「人間がよく生きることを可能にする実践的な動機、基準、行動」と定義しました。私たちは、人生の状況で遭遇する名誉あることを望み、恥ずべきことを拒絶することで、高潔な行動を示します。

アリストテレスは、私たちの行動を導く4つの主要な美德があることを示唆しました-1)慎重さ(自己規律)、2)正義、3)不屈の精神(勇気)、4)節制(私たちの行動の節度)t、そしてそれらは恐怖や罰によって強制されるものではありません。このような美德は、我々の任務を定義し、軍人の性格と奉仕の基盤として役立つ。

クリスチャンにとって、これらの美德は、「心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛し、自分を愛するように隣人を愛せよ(マタ22:36-40、マコ28-34、ルカ10:25-37)」というイエスの教えに要約されています。これらの美德は、愛、喜び、平和、忍耐、親切、善良、忠実、柔和、自制など、聖霊に導かれた実としても生み出されます(ガラテヤ5:22-23)。これらの教えに従うことは、すべてのクリスチャンにとって不可欠です。

旧約聖書の指導者たちが示した軍事的美德の模範はたくさんありますが、クリスチャンの主な模範はイエス(ヘブル人への手紙第12章1-3節)であり、彼は私たちの行動の基準を命じました。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合わなければならない。これにより、あなたが私の弟子であることを誰もが知るでしょう、もし一人を愛するなら。」(ヨハネ13:34-35)。イエスの教えは、私たちが伝統的な美德の実践を、互いに愛し合うようにという神の命令に従う聖霊の実と定義するように私たちを招いています。

新約聖書では、バプテスマのヨハネ、イエス、ペテロ、パウロが職務を遂行しているときにローマの兵士に出会い、神はこれらの兵士を模範として用いて、福音が最古のクリスチャンから今日の私たちに至るまで、全人類にどのように伝えられるかを形作りました。

ですから、兵士や法執行機関の職員としての私たちの道徳的原則と倫理的実践の形成は、旧約聖書の模範ではなく、私たちの主の生涯と使徒たちのミニストリーについての福音書の記述から始める必要があります。次の5つの帰納的聖書研究は、私たちの国と隣人への忠実な奉仕に対する神の招きを探求するのに役立ちます。

その後の各聖書研究は、1)テキストに書かれていることを観察することから、2)テキストからの意味を解釈し、関連付けること、そして最後に3)テキストから導き出された意味を個人的および集団的な文脈に適用することへと流れる帰納的方法論を用いています。各学習は祈りから始まり、次にルカと使徒言行録の主要なテキストに焦点を当て、グループが主が言っていることに集中するのを助けるように設計された質問のグループが含まれています。

各聖書研究には、リーダーがセッションを準備し、さらに熟考するための追加のテキストも含まれています。これらの追加のテキストと質問は、私たちの奉仕に対する神の指示を識別するための主要なテキストのより深い研究に使用できます。最後に、各研究は、適切な詩篇を導きとして祈りを捧げて終わります。

これらの研究があなたを祝福し、私たちの主に忠実に奉仕するあなたを強めますように。

**研究1 ターゲティング、規律、および強みに関連する値
神は私たちに何を求めていますか?
バプテスマのヨハネとローマの兵士たち—(ルカ3:14)**

開会の祈り

紹介

クリスチャンとして、私たちはイエス・キリストに属しており、彼を通して私たちは神の国に連れて来られました(エペソ人への手紙2:3-5)。このように、私たちの生活のあらゆる側面はHsの権威の下にあり、私たちは彼の王国の生きた管理者になります。

。

この管理には、我が国の軍隊の一員としての私たちの奉仕が含まれます。私たちの国々は、私たちが職務を遂行することを期待しており、私たちの奉仕には、私たちの誠実さ、誠実さ、致命的な武力の使用に対する慎重な配慮、そしてストレスの下での行動方法が必要です。

ルカ3:14は、私たちの信仰の道徳的価値を私たちの倫理的実践と結びつけていますが、それは私たちが権力と暴力を管理することについて疑問を投げかけているからです。初期のキリスト教指導者たちは、この一節のために信者が軍隊に勤務することを認め、彼らは隣人を守るための殺傷力のある武力の正当な使用に基づいて政府奉仕を主張しました。

このルカ3章では、ローマの兵士が群衆を見ていますが、これは現代の兵士や警察が参加している警備任務に似ています。そこで、彼らは洗礼者ヨハネに「神は私たちに何を求めておられるのですか」と質問します。

バプテスマのヨハネは、ローマの兵士たちの質問に答えるために、3つの具体的な言葉を使っています。聖書で使われているギリシャ語の言葉には、次のような意味が込められています。1)最初の単語は、文字通り、ステルスによる盗みとは対照的に、「暴力を振るうか、強盗を恐れる」という意味です。2)第二の言葉は文字通り、偽りの告発を意味し、この言葉は偽りの証言をしてはならないという戒めと結びついています(出エジプト記20:16)。3)3番目の言葉は「不屈の力を持つ」という意味で、これはヨシュアが恐れ、危険、不確実性に直面しても強く勇敢でいなさいという神の命令と結びつけることができます(ヨシュア記1:19)。

不当で、恐れ、ストレスを感じ、不満を抱いている兵士や警官は、自分自身、彼らの仲間、そして彼らの隣人にとって危険です。したがって、バプテスマのヨハネのローマの兵士に対する答えは、私たちがストレスにさらされている間、私たちの正当性、正直さ、誠実さ、そして目標とする際の「不変の強さ」のレベルについて考えるように私たちに招いています。

一次帰納的研究

ルカ3:1-17を読み、次の質問に答えてください。

- 川では何が起きているのですか?ジョンに質問をしている職業は何ですか?彼らの質問は何ですか?兵士たちは何を尋ねますか?
- このような問いに対する答えが、神に忠実に仕えるために重要であると、なぜお考えですか。ジョンはこれらの質問にどのように答えますか?彼の答えは、各個人やグループにどのように適用されるのでしょうか?なぜジョンはこのような答えると思いますか?

解釈と関係関係 ルカ3章の節に深く焦点を当てています。

- ローマの兵士たちは、ヨハネに他のグループとは異なる種類の質問をしていると思いますか?彼らの質問で何が異なり、何が似ているのか?
- ジョンは兵士たちに具体的に何を3つ伝えていますか?
- ジョンは、お金、貪欲、腐敗に関わる倫理的、霊的な実践についてだけ話していると思いますか?彼は他に何を言っているのでしょうか?
- ローマの兵士たちはヨハネが何を言うことを期待していたと思いますか?
- なぜジョンは兵士たちに軍隊を去るように要求しなかったのですか?
- ジョンの答えには、どのような現代の軍事活動が当てはまるのでしょうか?
- 権威と権力の適切な使用をどのように実践しますか?
- 困難や恐怖の時に、私たちはどのように自分自身を維持していますか?
- ジョンの答えは、個人やあなたのユニットにどのように当てはまりますか?なぜでしょうか。
- 神が兵役に就く人々に要求する美德と価値観は何ですか?

適用: ルカ13:1-5を読んで、ピラトが礼拝中に人々を殺し、人々が事故死したことについて。おそらくピラトは、これらの行為を行うために、兵士や彼の権威に関連する命令を受けた人々を利用したのでしょう。倒壊した建物は、おそらく政府の建物のプロジェクトだったのでしょう。

- ピラティスの兵士やビルダーは間違った行動をとったのか?犠牲者の死は彼ら自身の責任だったのか(彼らは起こったことに値したのか)、それとも不当な状況の犠牲者だったのか?
- これらの状況は、ローマの兵士や政府の労働者に対する洗礼者ヨハネの指導に違反しましたか?なぜですか、なぜそうでないのですか?
- イエスとヨハネの言葉は、私たちが活動する出来事において、私たちの行動をどのように導くのでしょうか?
- 武力紛争法におけるターゲティングの4つの基本原則は、1)区別、2)軍事的必要性、3)比例性、4)不必要な苦痛の防止であるが、ローマの兵士に対する洗礼者ヨハネの答えは、これらの原則にどのように適用されるのか。
- ルカ3章とルカ13章の聖句は、軍事的な区別、必要性、均衡性、そして他者の不必要な苦しみという現代の実践とどのように結びついているのでしょうか。

- ヨハネが群衆に語った最後の言葉は、群衆と兵士たちに何か恵みを与えているのでしょうか。この恵みとは何でしょうか？
- 聖霊の実は、ヨハネの答えをローマの兵士たちにどのように理解し、適用するのを助けますか（ガラテヤ5:22-23）
- 神は、兵士や警察官としての私たちの行動を判断するために、どのような基準を用いてくださると思いますか？上記の聖句は、あなたの価値観や実践にどのように影響しますか？

さらに詳しく知りたい方へ：

- 詩篇62篇を読む - 兵士として、ダビデ王は同様の問題に苦しんでいました。彼の祈りは、これらの質問に答えるのにどのように役立ちますか？告知：
 - 第3節 – 不適切な攻撃の状況
 - 5-8節 – 火の下での信頼の状況
 - 第10節 – 恐喝、汚職、権力の乱用の状況
- サムエル記上24章を読む-ダビデはサウルの命を救う：
 - ダビデがサウルを殺さなかった理由は何ですか？(道徳的価値観)
 - ダビデの兵士への命令は何ですか？(倫理的慣行)
 - この箇所は、ローマの兵士に対するヨハネの答えとどのように関連していますか？
- ヨシュア記2章を読みましょう。
 - ダビデはゴリアテを殺し(1サムエル17:31-58)、ヨシュアと同じ勇気を示しました(ヨシュア1:9)。
 - 兵士たちはエリコでラハブを他の敵とどのように違った扱いをしましたか？
- 申命記20章を読んでください。神はモーセと戦争中の部族の兵士たちに何を求めていますか？なぜこれらのことが必要だと思いますか？

閉会の祈り – 詩篇62篇を一緒に祈ります。

研究2 権威、服従、ケアに関連する価値観

「私自身が権威の下にあるのです。」

イエスとローマの百人隊長(ルカ7:1-10)

このテキストでは、ローマの司令官(百人隊長)が、病気の僕に代わって自発的にイエスの助けを求めています。センチュリオンは、1)ユダヤ教の部外者であり、2)戒厳令を命じる外国の侵略者でもありました。私たちは使用人の病気についての詳細は知りません-私たちは次のことだけを知っています:

- 一) このローマの百人隊長は、部下への関心に非常に突き動かされ、外国の宗教指導者に助けを求めました。
- 二) また、百人隊長が彼が支配した人々から尊敬されていたこともわかっています、なぜならユダヤ人の長老たちはこのローマ人を「ふさわしい」と表現しているからです。
- 三) ローマの百人隊長は、彼がそう言ったので、イエスに従属していると感じました。
- 四) イエスは百人隊長の信仰に驚かれました。

ローマ軍では、百人隊長の階級は100人の兵士の指揮官に与えられます。これにより、彼は現代の中隊長に相当します。歴史のこの時期に、ローマの市民は軍団(陸軍)に入隊し、100人の兵士からなる世紀に割り当てられました。各世紀の司令官は、そのメンバーの中で最も実績のある兵士から選ばれました。これは、上級司令部によって中隊に配属される指揮官とは異なるシステムです。したがって、このローマの百人隊長が選ばれたのは、彼が彼の会社で最も実績のあるリーダーだったからでしょう。

「軍曹」の階級を表す現代の言葉は、「使用人、従者、または宮廷の役人」を意味するフランス語から来ていると信じている人もいます。フランス語の単語はラテン語の「serviens」に由来し、「使用人」または「兵士」も意味します。一部の歴史家は、病気の使用人は実際にはセンチュリオンの軍曹の一人であったかもしれないとコメントしています。これは、百人隊長が彼の使用人に対して懸念していることを説明するのに役立ちます。それは、彼が部隊と関連しているためです。

この聖書のテキストの重要な特徴は、イエスの癒しが、軍の指揮系統の秩序と規律に従っているように見える状況にどのように反応するかということです:司令官は彼の部隊のメンバーの福祉を心配し、彼は指揮系統の3つの主要なルールに従っているように見えるイエスの要求をします。

- 一) あなたは決して上司をあなたのところに来させません、

二) 権限は、コマンド階層のチェーンを上下に移動します

三) 上司は権限を委任することはできますが、責任を委ねることは決してできません。

これらのルールはすべて、ルカのテキストの中で働いています。ローマの兵士たちは、洗礼者ヨハネとイエスを上位者と見なし、ヨハネとイエスはこれらの兵士たちを手ぶらで送り出すことはありません。これらのテキストは私たちに何を伝えているのでしょうか？

しかし、この主要なテキストで驚くべきことは、イエスがこのローマの百人隊長が彼を驚かせたと宣言していることです。なぜでしょうか。ローマ人の司令官としての倫理観、ユダヤ人コミュニティに対する彼の行動は？彼の部下への思いやりは？それとも、神の前での彼の謙虚さでしょうか？

開会の祈り

一次帰納的研究。

ルカ7:1-10を読んで、次の質問に答えてください。

- なぜ百人隊長は、自ら行くのではなく、地元の長老たちをイエスのもとに送ったと思いますか？
- なぜこれらの地元の指導者たちはイエスのところに行ったと思いますか？彼らの関係はどうだったのか？彼らの行動は、強制、公共のマナー、評判、好意の請願、またはそれ以上の何かによって動機付けられましたか？
- 百人隊長は彼の召使を彼の指揮官としてどのように扱ったと思いますか？
- なぜ百人隊長は彼のしもべを気遣ったと思いますか？
- なぜ彼はイエスに癒しを求めることにしたと思いますか？センチュリオンには他の選択肢がありましたか？

解釈と相関

- なぜ百人隊長は、自分はイエスを家に迎えるに値しないと信じていたと思いますか？
- なぜ百人隊長は、イエスが彼のしもべが癒されるためには言葉を言わなければならないと主張したと思いますか？こんな風に感じたことはありますか？なぜでしょうか。
- なぜイエスは百人隊長の行動に「驚いた」と思いますか？

応用:

- パウロはローマ人への手紙の中で、「神の国とは、食べたり飲んだりすることではなく、聖霊による義と平和と喜びの問題です。なぜなら、このようにキリストに仕える者は誰でも、神に喜ばれ、人間の承認を受けるからです」と書いています。(ローマ14:8

- 百人隊長の行動は、パウロのクリスチャンの行動の指示をどのように示していますか?彼は自分に価値がないと思っていますが、イエスは彼の信仰を称賛しています-イエスは彼自身を裁くよりも彼を価値あると判断したと思いますか?なぜでしょうか。
- センチュリオンをリーダーとしてどのように評価しますか?彼は、他の人が自分の命令に従うことを期待したのと同じように、上司に従ったと思いますか?
- このテキストは、指揮官の忠実さ、責任感、説明責任の美德について何と言っていると思いますか?彼らはリーダーの権威と謙虚さについて何と言っていますか?
- 百人隊長はキリストに従う者ではなかったが、聖霊の実と関連づけられた属性を示したのだろうか。彼は一人になれたのだろうか?
- 彼はどんな果物を見せましたか?彼らは司令官としての彼の行動を導いたと思いますか?軍隊の一員として、御霊の実はどのようにして私たちの人格の指針となるのでしょうか。
- あなたはこの百人隊長の下で奉仕したいですか?なぜですか、なぜそうでないのですか?

さらなる研究のために:

- マタイによる福音書8章5-13節を読みましょう。
 - この出来事についてのマタイとルカの記述の類似点と相違点は何ですか?
 - これらの類似点と相違点は、このテキストを理解するのにどのように役立ちますか?
- 2サムエル23章をダビデと彼の勇士たちについて読んでください。
 - この章では、ダビデの勇敢な男たちのイニシアチブ、勇気、そして行動に焦点を当てています。彼らは何をしていたのか?彼らは英雄のように振る舞っているのか、それとも指揮官の世話をしているのか?
 - 13節から17節に注目してください。彼らはダビデのために何をしましたか?デビッドはどのように反応しましたか?デビッドは彼の行動にどのような理由がありますか?
 - このテキストは、敬虔な指導者としてのダビデの美德について何と言っていますか?
 - ダビデの行動は、ルカ7章の百人隊長の行動とどのように似ていますか?彼の行動はどう違うのでしょうか?これらの箇所は、私たちのリーダーシップにとって何を意味するのでしょうか。
- 詩篇15篇を読んでください。
 - このダビデの詩篇は百人隊長にどのように当てはまると思いますか?
 - この詩篇は、私たちの兵役にどのように当てはまると思いますか?

閉会の祈り – 詩篇15篇の言葉を一緒に祈ります。

研究3 率直さ、忠誠心、自己認識、和解の価値観

「きっとこの人は義人だった」

イエスと十字架上の百人隊長(ルカ23:44-49)

その十字架にいた百人隊長は、イエスを処刑した詳細を指揮しており、彼はイエスを殺す責任がありました。それは個人的なことではありませんでした。政治的なことではなかった。彼は命令を受けており、イエスは国家の敵であると判断されました。そこで、センチュリオンは、死刑囚を拷問し殺すために兵士たちを率いることで、彼の義務を果たしました。もしかしたら、洗礼者ヨハネと会った兵士たちの中には、同じ部隊に所属していた人もいたかもしれませんし、もしかしたら彼らもイエスの死の一部だったのかもしれません。あるいは、自分たちの経験についての話を共有したのかもしれません。

道徳的な傷は、彼らの行動が彼らの個人的および職業的価値を侵害し、彼らの行動の結果が相反する感情と精神的な闘争を生み出すときに兵士に起こります。兵士がこのような苦闘を経験するのは、良心があるからです。クリスチャンとして、私たちは信仰のためにこれらの同じ闘争を経験することができ、私たちの闘争は私たちの道徳的価値観と生活実践との間のある種の和解を必要とします。

一部の戦闘機は、特定された敵との戦闘の終了時に安堵感と喜びを感じたと報告しています。モーセとイスラエルの民は、敵が紅海で死んだ後、祝いました(出エジプト記15章)。ダビデはゴリアテを殺した後、彼の武器を取って祝いました(1サムエル17章)。悪と認識された者の死、そして私たち自身の生存を祝う正当な理由があります。しかし同時に、罪のない犠牲者や仲間の兵士の死や負傷を悼む理由があるかもしれません。また、兵役の遂行において道徳的な境界を越えた後で、自分自身の行動の結果から悔い改め、自分自身を清める原因があるかもしれません(民数記31:1-24)。

十字架上の百人隊長が最初のクリスチャンだったのは、彼が十字架上の神の子としてイエスを認めたからだと言う人もいます(マタイ27:54、マルコ13:39)。ルカは百人隊長の言葉を違った方法で記録しています。ローマの兵士たちは、1)イエスの頭に茨の冠を打ち込み、彼を嘲笑し、2)彼を十字架に釘付けにし、3)イエスの頭に告発を釘付けにし、4)彼を侮辱し、5)彼が死ぬのを見守った。

イエスが彼の死に耐え忍ぶ様子を見た後、彼らの指揮官は退役軍人のように率直に「本当にこの人は正義でした」と語りました。ある意味で、百人隊長は「イエスは正しかったが、ローマとユダヤの権威は間違っていた」と言いました。

このセンチュリオンがこの瞬間にクリスチャンになったかどうかはわかりません。他の皆と同じように、百人隊長は十字架で間違った結論に達しました、なぜなら彼はイエスについて過去形で話したからです。彼はイエスが復活することを知らなかったのです。しかし、彼は、敵と思われていた人物の死を喜ばないベテランのような率直さで

話した。百人隊長が病気の僕と一緒にいるように(ルカ7章)、彼は同情を持っていたかもしれません。あるいは、バプテスマのヨハネと話している兵士のように、彼は自分の行動の正当性を考えていたかもしれません(ルカ3章)。どういうわけか、百人隊長はイエスに対して反応を示し、それが奉仕する私たち全員の模範を示しました。

開会の祈り

プライマリテキスト

ルカ23:44-49を読み、次の質問について話し合ってください。

- イエスの処刑で百人隊長は何を見て、何をしたと思いますか?
- 彼が何をし、何を見たかについて、彼はどのような結論を下したのだろうか?
- このセンチリオンはどのような美徳を示していますか?
- この百人隊長の行動に、精神の果実が見られますか?彼らは何ですか?
- 百人隊長の告白と誠実さの模範ですか?それとも、良心の悪さに対する反応だったのでしょうか?彼はもしかして信仰を示していたのでしょうか?
- この百人隊長は、バプテスマのヨハネの兵士たちへの指示(ルカ3章)にどのように従うのでしょうか、それとも従わないのでしょうか。このセンチリオンは、ルカ7章のセンチリオンとどのように似ていますか、または異なりますか?

解釈と相關

- 百人隊長は命令を実行した後、安らかだったと思いますか?
- 百人隊長は、イエスが正しいと結論付けました。これは、彼が自分自身の行動や指導者の決定を間違っていると判断したということだと思いますか?
- センチュリオンの行動は愚かだったと思いますか、それとも道徳的な誠実さの行為だったと思いますか?

アプリケーション

- センチュリオンの率直さは、私たちにとってどのような役割を果たすと思いますか?このセンチリオンからどのような教訓を得ていますか?
- 私たちは、軍事的義務と忠実な管理との間に、どこで線を引くのでしょうか?
- これらの時期に、御霊の実はどのようにあなたを導きますか?
- あなたは、十字架の百人隊長と同じような立場に立ったことがありますか?それともネイサンの前のダビデ王?何をしましたか。

閉会の祈り -- 詩篇51篇を一緒に祈ります。

さらなる研究のために:

- ルカによる福音書第20章20-26節を読んでください。この箇所は、権威の源泉に対する相反する服従の問題でイエスを罠にかけようとする指導者たちの物語を語っています。

- イエスはこれらの指導者たちにどのように答えますか?
 - 百人隊長の立場と十字架での彼の発言は、彼をカエサルと神との間の対立に置くと思いますか?なぜですか、なぜそうでないのですか?
 - センチュリオンは、政治的・宗教的権威と神の王国との交差点で、どのように誠実さを示しているのでしょうか?
 - センチュリオンの声明は、職務を遂行する上でどのように役立つと思いますか?
- ローマ人への手紙**13章1-6節**を読んでください。これが、使徒パウロの政府と福音の権威に関する主要な教えです。それはすべての問題に答えるわけではありません、そしてそれはカイザルと神に属するものについてのイエスの教えを考慮に入れて読むべきです。
 - パウロは、私たちと統治当局との関係について何と言っていますか?これはあなたのサービスにどのように当てはまると思いますか?
 - これらの聖句を、ルカ**23章**のセンチュリオンのコメントとルカ**20章**のイエスの教えと関連づけて、どのように解釈しますか。あなたにとって何が役に立ちますか?何が心配ですか?
 - **2サムエル11章と12章**のダビデ、ウリヤ、ナタンの物語を読んでください。
 - 最初の2つの聖書研究では、ダビデは兵士の敬虔な美德の良い模範です
 - ダビデは王(シニアリーダー)としてどう違うのですか?
 - これらのテキストでは何が起こっているのでしょうか?
 - 彼がゴリアテに対して、そして彼の強力な兵士たちに対して示したのと同じ美德が、今や彼を王として非難するのに役立ったのでしょうか?デビッドはリーダーとしてどのように失敗しますか?何が彼を回復させるのか?
 - ダビデは十字架の百人隊長と同じような自己評価を示していますか?
 - デビッドは彼の行動によって道徳的に傷つけられます。ダビデは自分の行為で有罪判決を受けたとき、何をしますか?
 - あなたはネイタン以前のダビデ王と同じような立場にあったことがありますか?何をしましたか。
 - 民数記**19章**を読んでください。
 - 神はモーセとアロンに、戦いから戻った兵士たちをどうするように命じますか?
 - なぜ神は兵士にそうするように要求していると思いますか?
 - 同様の実践は、トラウマ的な出来事の後、あなたとあなたのユニットにとって精神的および心理的な浄化になると思いますか?
 - 詩篇**51篇**を読んでください。これは、無実の人を殺したダビデの告白です。
 - デビッドはどんな問題について話していますか?

- デビッドはどのように変化していますか?これらの変化をどのような聖句が表現していますか?
- この詩篇は、十字架の百人隊長に役立つでしょうか?
- これらの聖句は、トラウマになるような出来事の結果に対処する際に、どのように役立つのでしょうか?

閉会の祈り -- 詩篇51篇を一緒に祈ります。

信仰、家族、コミュニティ、教会の価値観4を学ぶ
「私たちは皆、神の御前で耳を傾けるためにここにいます。」
ペテロとコルネリオ(使徒行伝10:1-48)

この研究は、神がコルネリオというローマの百人隊長、彼の家族、そして彼の共同体の忠実な実践を用いて、使徒ペテロのキリストの体に属することができる、また属すべき人についての偏見を変えることを含んでいるという点で、他の聖書研究とは異なります。この2つの相反する立場について考えてみてください。

- 一) ローマの百人隊長コルネリオは、イエスについて知らなかった部外者(異邦人)でした。しかし、彼は祈っており、神の命令により、家族、友人、そして彼のコミュニティ(おそらく彼の部隊のメンバーの一部を含む)を集めて、使徒ペテロを彼の家に招き、彼らが神から学ぶことができるようにしました。
- 二) ペテロは、イエスによって指導的な使徒として選ばれましたが、ユダヤ人共同体の外で福音を宣言することには消極的でした。しかし、神の命令で彼は知らない人々のところに行き、イエスの救いの働きの新しい方向性を目撃しました。後に、ペテロはエルサレムの教会で、イエスと異邦人とのこの新しい関係の完全性と力について証しし、これがイエスの福音が世界と歴史を通じてどのように宣言され、実践されるかを永遠に変えることになります。

このレッスンでは、コルネリオとペテロの関係が、私たちの信仰、人間関係、使命において、私たちにとってどのような意味を持つのかを学びます。

開会の祈り。

プライマリテキスト

使徒行伝10:1-48を読みましょう。

- 1-8節で何が起こりますか?
- コーネリアスは何を祈っていると思いますか?彼はローマ人です - 彼は誰に祈っていたのでしょうか?
- 神はコルネリオの祈りにどのように応えますか?コーネリアスの反応は?
- 天使はコーネリアスに何と言いますか?彼は何をしているのだろうか?
- コーネリアスは誰に任務を託しているのでしょうか?この兵士が職務に敬虔で勤勉である理由は何ですか?
- 9-19節で何が起こるか。
- ペテロは何を祈っていたと思いますか?
- 神の答えはペテロに問題を提示しました。何が問題だったのか?ペテロは神にどのように応答しましたか?
- 神はペテロの反論にどのように答えましたか?神様はペテロに命じた三つのことは何ですか?

- 19-25節で何が起きているのか。敬虔な兵士たちが二人の「戦闘仲間」を連れてきたことに注目してください。兵士たちは彼らの指揮官をどのように表現していますか?ピーターはどのように反応しますか?
- 25-33節で何が起きているのか。ピーターが彼の家に見れたとき、コーネリウスはどう反応しましたか?ピーターはどう答えたのだろうか?
- 27節に注目してください-なぜコルネリオの家には大勢の人が集まっていたのですか?群衆の中にいたのは誰だったのか?
- ピーターはコーネリウスに何と言いますか?なぜピーターはコーネリアスの家に行くのをためらったのですか?なぜペテロはコルネリオが神に受け入れられないと思ったのですか?コーネリウスはピーターにどのように反応しますか?コーネリウスはピーターに何をしてほしいのですか?
- 33-48節で何が起こりますか?ピーターはコーネリアスの要求にどのように応えますか?ペテロはコーネリアスの家に集まった群衆に何を宣言しますか?ピーターが話した後、何が起こったのですか?観客の反応はいかがでしたか?
- ペテロは、神の行動と人々の反応を目撃したとき、何をし、何を言いましたか?

解釈と関連

- 私たちの家族、コミュニティ、ユニットは、政府のサービスとどのようにリンクしていますか?私たちの信仰は彼らとどのように結びついているのでしょうか?
- 軍隊で奉仕しながら、神との霊的関係をどのように実践しますか?軍事的な規律と精神的な規律をどのように結びつけていますか?
- これらの聖句から私たちはどのような教訓を得ているのでしょうか。ペテロとコルネリオは、これらのテキストに兵士の美德を示していると思いますか?彼らは何ですか?彼らはどのように聖霊の実を示していますか?

アプリケーション

- 使徒行伝15:1-22を読んでください。エルサレム会議。ここで初代教会は、福音をどのように宣べ伝えるべきか、また新たにキリスト教に改宗するために何が必要かを決定しました。
- 神様はパウロとバルナバに何をしていたのでしょうか。これは、神がペテロとコルネリオに対して行ったことによってどのように確認されましたか?
- ピーターは長老のジェームズに何と言いましたか?
- エルサレムの教会はどのように反応しましたか?
- これはキリストの教会の将来にとって何を意味したのでしょうか?これは今日でも私たちのミニストリーでどのように起こっていますか?これはどこで目撃していますか?

さらなる研究のために

- 2歴代誌20:1-30。これらの節では、外国の侵略者は神の民に対する脅威です。
 - どうなるの?誰が神の民を脅威から救い出すのでしょうか。コミュニティとして、人々はどのように反応しますか?

- この聖句から私たちはどのような教訓を得ますか?
- 使徒行伝11:1-18を読んでください。 ピーターの証人 コーネリアスに何が起こったのか。
 - 初代教会の霊的偏見は何だと思いますか?
 - 教会はペテロとコルネリオのミニストリーにどのように反応しますか?
 - ピーターは彼らに何と言いますか? 彼らはピーターの説明をどうしますか? 彼らは何を学びましたか?
- 詩篇128篇を読む
 - この詩篇は、コルネリオ、ペテロ、パウロ、そして教会の祈りであるとどのように思いますか?
 - 教会に適用される神の祝福とキリストの平和とは何でしょうか?
 - これらの祝福と平和は、今日、あなたのコミュニティ/教会でどのように起こっていますか?

閉会の祈り – 一緒に祈る 詩篇128篇

リスク、目的、ミッションの成功に関連する5つの価値を研究
「全員が無事に陸地にたどり着きました」
ローマへの道のパウロとユリウス(使徒行伝27)

これまでの研究では、部隊外の人々と何らかの霊的レベルで交流したローマの兵士を調査しました。彼らは奇妙な宗教的な説教者(バプテスマのヨハネ)に、神が彼らに何を求めているかについての質問をしました(ルカ3)。ルカ7章では、彼らは旅をしているラビ(イエス)からユニットメンバーの癒しを求めました。彼らは、国家の死刑囚の敵の義に気づき(ルカ23)、神について聞くために見知らぬ人を家とコミュニティに招きました(使徒10章)。これらのテキストはすべて、物語、兵士のプロフェッショナルな性格、そして神の王国と接触した後の彼らの反応を含んでいました。彼らがこれらの集会の重要性を完全に理解していたかどうかはともかく、彼らはイエスの福音の役者でした

これらの出来事のそれぞれで、兵士たちは治安警察として行動し、神が彼らの生活に入り込んだとき、彼らはある種のリスクと霊的な反応を引き受けました。もしかしたら、これらのリスクは、兵士や警察官が職務で受け入れるような危険で物理的なリスクではなく、職務を遂行する上での彼らのアイデンティティと性格に対するリスクだったのかもしれませんが。

次の質問を自問してください。

- 一) これらの兵士たちは、洗礼者ヨハネと話すこと、そして彼らの行動方法を変えることによって、どのようにリスクを受け入れたのでしょうか?
- 二) 百人隊長は、共同体と彼のしもべがイエス(外国のヒーラーであった)に頼るのに十分な気遣いをしたとき、どのようにリスクを受け入れたのでしょうか?
- 三) 十字架にかかった百人隊長は、政府の告発に対してイエスを義と宣言したとき、どのようにリスクを受け入れたのでしょうか?
- 四) コルネリオはクリスチャンになったとき、どのようにリスクを受け入れ、他の人々に彼と一緒に洗礼を受けるように勧めましたか?
- 五) ペテロはどのようにしてローマの兵士に仕えることでリスクを受け入れたのでしょうか?
- 六) ヨハネ、イエス、ペテロがローマの兵士たちと霊的なレベルで交流したとき、神はどのようにリスクを受け入れたのでしょうか?

同様の質問は、この研究に含まれる他のテキストで調査したすべての人々について尋ねることができます。彼ら一人一人が何らかのリスクを受け入れ、その受け入れが福音の宣教の成功につながったのは、神が彼らの政府奉仕をキリストにおけるご自分の目的を果たすために用いたからです。では、私たちはどういう意味ですか?

テモテへの第二の手紙2章3節で、使徒パウロはテモテという若いクリスチャンに、イエスを世と分かち合う使命のために、「キリストの良き兵士として困難に耐える

」ようにと励ましています。この研究では、使徒パウロをローマに引き渡すためにさまざまなリスクを受け入れた百人隊長や他のローマの指導者たちの行動を検討します。神はパウロの旅路を用いて、福音をローマ世界にもたらすでしょう。追加のテキストでは、ステパノ、オネシモ、ピレモンが受け入れたリスクを検討し、最後に、パウロがローマの武具を使用して、クリスチャンとしての私たちの使命において神が私たちに与えてくださる保護について説明します。

開会の祈り

プライマリテキスト

- 使徒行伝23:12-35を読んでください。これらの聖句は、パウロを殺す陰謀の物語です。
- この箇所では何が起こっているのでしょうか?司令官の行動についてどう思いますか?ポールを守ることは彼にとってリスクだったのだろうか?ポールを殺す陰謀を暴いたのは、彼の手柄にするのが出世主義だったのだろうか?
- 不義な動機がどうして正しい行為につながるのでしょうか?
- 200人の兵士(2個中隊)を1つの防御の詳細に使用することについてどう思いますか?旅団長のフェリックスと2人の百人隊長(中隊長)は、どの程度のリスクを受け入れたのか?
- あなたも似たような経験をしたことがありますか?
- 使徒行伝27章を読みましょう。パウロはフェストゥスとフェリックスの前で二度の試練を経て、カエサルに訴えたためにローマに送られました。それは、ローマ市民としてのパウロの権利でした。
- ユリウスという名前の百人隊長は、ポールと何をするように命じられましたか?
- 3節を見てください。ユリウスの優しさについてどう思いますか?彼はポールが友人の家に滞在することを許すことで、どのようにリスクを受け入れたのでしょうか?彼は弱い兵士だったと思いますか?なぜですか、なぜそうでないのですか?
- 23-41節に注目してください。ローマへの旅は困難で、嵐に遭遇し、船と生存が脅かされました。彼らはどのように反応したのでしょうか?
- ポールはユリウスに何をするようにアドバイスしましたか?なぜパウロはこんなことをしているのでしょうか?ポールはユリウスが知らないことを何を知っているのでしょうか?なぜユリウスはポールを聞いているのですか?
- 42-44節をもう一度読んでみてください。
- 兵士たちは囚人に何をしたかったのですか?なぜ彼らはそれをしたかったのですか?
- ユリウス(司令官)は何をしましたか?なぜ彼はこんなことをしたと思いますか?
- ユリウスは、十字架の百人隊長、コルネリオ、ルカ7章の百人隊長のようにどのように振る舞っていたと思いますか?
- ユリウスは、ルカ3章でバプテスマのヨハネが兵士たちに伝えた指示に従って、どのように行動したと思いますか?
- ユリウスは任務を完了したのか?

- ユリウスの行動を通じて、神様は何を成し遂げられたのでしょうか。

解釈と相関

- これらのセンチリオンは、それぞれリスクとミッション達成にどのように対処しているのでしょうか？
- 兵士としてのユリウスについてどう思いますか？彼は使徒行伝23章に描かれている他の百人隊長とどのように似ていましたか、それとも異なっていましたか？
- ユリウスは、アリストテレスが描写した美德、すなわち、1)慎重さまたは自己規律、2)正義、3)不屈の精神(勇気)、4)節制(行動における節度)をどのように示したのでしょうか。

アプリケーション

- ユリウスは聖霊の実に関連する行動をどのように示しましたか（ガラテヤ5:22-23））ジュリアスの例を兵役でどのように活用しますか？
- あなたは自分の奉仕と信仰にどのような教訓を応用していますか？

さらに勉強するために

- 使徒行伝7章と使徒行伝8:1を読んでくださいー
 - スティーブンはどうなりましたか？なぜポールは承認したのですか？
 - ガラテヤ人への手紙1:11-14を読んでください - 彼の人生の後半で、パウロは彼がしたことについて振り返っています。イエスは彼に何を教えましたか？彼は何を学びましたか？
 - 使徒行伝23-26章のローマの指導者たちとユリウスは、パウロよりもどのように慈悲深く行動したのでしょうか？
- ピレモンを読んでください。
 - なぜパウロはオネシモをピレモンに送り返すのですか？
 - ピレモン、オネシモ、パウロはどのようなリスクを冒していますか？
 - 彼らは何を達成しているのでしょうか？
 - これは、使徒行伝15章でペテロとコルネリオが取ったリスクとどのように似ていますか、それとも異なりますか？
 - エフェソの教会で最初に記録された司教はオネシモです。パウロの手紙が教会で読まれた後、何が起こったと思いますか？
- エペソ人への手紙6章10-18節を読んでください。
 - これらの聖句は、ユリウス、パウロ、ステパノ、ピレモン、オネシモにどのように当てはまりますか？
 - 彼らは危険にさらされているクリスチャンにどのように適用されますか？
 - あなたのサービスにどのように適用されますか？
- 詩篇144篇を読んでください。
 - これはユリウス、パウロ、ステパノ、ピレモン、オネシモの祈りだと思いますか？どうしてそれがあなたの祈りなのでしょう？

閉会の祈り -- 詩篇144篇を一緒に祈ります。

結論

軍隊や警察で奉仕するクリスチャンとして、これらの研究から恩恵を受けたことを願っています。哲学者アリストテレスは、善良な性格を持つためには、善意、優れた美德、そして私たちの思考と行動を組み合わせた実践的な知恵が必要であると信じていました。アリストテレスは、義務と私たちの個人的なアイデンティティを結びつけるために、**1)慎重さ(自己規律)、2)正義、3)不屈の精神(勇気)、4)節制(行動の節度)の4つの本質的な美德を提案しました。**これらの美德の一つ一つは、過度の行動と不十分な行動の間でバランスをとる必要があります。したがって、勇気の過剰は無謀な行動につながる可能性があり、勇気の欠如は臆病につながる可能性があります。

クリスチャンにとって、私たちは個人的な信仰と自分の仕事とを切り離すという選択肢はありません。行き過ぎや性格の欠如によって引き起こされるこれらの分離は罪と見なされます(ローマ人への手紙**14:3**)。しかし、私たちは神との関係を持っていますが、それは私たちの主イエスの恵みに基づいており、私たちの個人的な業績ではありません(エペソ**2:8-10**)。私たちの信仰の内容と私たちが果たす義務を切り離すこともできません(ヤコブ**2:17**)。したがって、神に対する私たちの道徳的義務は、私たちの信仰によって動機づけられ、私たちの政府に捧げられる倫理的奉仕を導かなければなりません(ローマ人への手紙**12**章、ルカ**17**章)。したがって、私たちが公言する軍事的な美德と遂行する軍事的義務は、次のものに奉仕するものでなければなりません。

- 一) 私たちの主の新しい戒めである「互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合わなければならない。それによって、あなたがたが互いに愛し合うなら、あなたがたがわたしの弟子であることを知るでしょう(ヨハネ**13:34-35**)」。
- 二) 「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛し、自分を愛するように隣人を愛せよ(マタ**22:36-40**、マコ**28-34**、ルカ**10:25-37**)」と主が教えておられます。
- 三) 聖霊の導きは、私たちの信仰告白を力づけ(1コリント**12:3**)、私たちの生活の実践を導く霊の実を生みだします、「愛、喜び、平和、忍耐、親切、善良、忠実、柔和、自制」(ガラテヤ**5:22-23**)。

これまでの聖書研究は、クリスチャンの兵士や警察が直面している多くの問題を取り上げ始めたばかりです。皆さんは、旧約聖書と新約聖書の多くの聖書のテキストを読みましたが、そこでは兵士たちが任務を遂行する中で神との関係を経験しました。これらの兵士のうち、生ける神と完全な関係を持っていた人はほとんどいませんでしたが、神は彼らを用いて、それゆえに彼らは私たちの模範となっています。これらの兵士の中に、あなたがたが模倣すべき私たちの主の忠実な信者となった者がいたかどうかは、あなたがたにお任せします。

しかし、これらの古代の兵士たちの誘惑や試練は、今日私たちが直面している闘争と全く異なるわけではないことを覚えておくべきです。あなたが信仰と奉仕と対立するような試練に決して直面しないように祈ります。しかし、あなた方が誘惑され、苦悩し、軍隊の一員としての性格が、クリスチャンとしての性格と信仰に反するように思える時があることを、私たちは知っています。このような時代には、両者を結びつける誠実さを持って行動することは不可能にさえ思えるかもしれません。しかし、「人間には不可能であるが、神にはすべてのことが可能である(マタイ 19:26)」。これらのローマの兵士たちがイエス、ヨハネ、ペテロ、パウロと経験した接触を、あなたが恵みと名誉をもって奉仕するにつれて、神があなたの兵役に近づき続けるように、あなたを導くようにしましょう。

キリストの平和があなたと共にいきますように。